

に、制度利用を利用者さんに明確に説明し、理解していただくことが重要なことです。
 これまで、このことがきちんと利用者さんに理解と理解がないままケアを行ってきたことがあり、

◆利用者さんの理解と了解

介護保険利用にあたっては最初に、制度利用を利用者さんに明確に説明し、理解していただくことが重要なことです。
 これまで、このことがきちんと利用者さんに理解と理解がないままケアを行ってきたことがあり、

◆家事援助の範囲

この程、愛知県は介護保険サービスの適正かつ円滑な提供が図れるよう、介護保険サービス事業所を対象に集団講習会を行いました。

No.25 チェック介護保険

第2回まごころ小規模出前講座

住んでいる場所で、老いの問題を身近に考える機会を作ります

北方連区で行います

ひとつとでない老いに/介護に/どう向き合いますか

北方の泉新公民館地区の280世帯に、講座案内のチラシを民生委員さん、町内会の皆様のご好意で、全戸配布がお願い出来ました。また、他の北方地区には回覧板でご紹介下さることになりました。地域の皆様方のご理解をいただけたことが何よりも嬉しく思います。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

- ◆日時・平成14年 1月25日(金)午後1時～3時30分
- ◆場所・北方の泉新公民館
- ◆内容・介護についての勉強会とアルツハイマー症のドキュメンタリービデオ上映
- ◆参加費・無料
- ◆主催・特定非営利活動法人(NPO法人) 尾張地域福祉を考える会 まごころ



明けましておめでと〜うございませす

皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

「まごころ」は、今年十年目を迎えます。これまで皆様からいただきました温かいご支援とご指導のお陰と、心から感謝申し上げます。
 これまでの活動を踏まえ、助け合い活動がより地域に広がっていくよう、地に足を付けた活動を行ってまいりたいと存じます。発足当時の合言葉だった「小さな助け合いが大きな安心に変わる」窓口を、次への十年に向けて開け続けられるよう、お互いに力を出し合い、安心して暮らせる地域作りを考えていきたいと思っております。
 本年もよろしくお願ひ申し上げます。



弁護士・さわやか福祉財団理事長

「堀田力講演会」開催

日時：平成十四年二月十日(水)午後一時〜二時三十分

講演会テーマ

新しいふれあい社会づくり

社会参加と自立に向けて

- ◆場所・一宮スポーツ文化センター三階小ホール
- ◆参加費・七〇〇円
- ◆申込・まごころ事務所 ☎ 0586-73-8707
- ◆主催・特定非営利活動法人(NPO法人) 尾張地域福祉を考える会 まごころ

ふれあい社会を 考えます / 学びます / 参加します

共生

～会のテーマです～

知的障害をお持ちの方、学校を卒業されたが、授産施設が満員で、まごころのミニデイサービスに、お申し込みしたい、お問い合わせください。まごころのデイサービスは、障害者の方の集まる場所です。まごころのデイサービスは、障害者の方の集まる場所です。まごころのデイサービスは、障害者の方の集まる場所です。

また介護現場でも、範囲が曖昧なままはつきりせず、行き違いを生じることがあります。
 在宅介護における家事援助は、身体介護と同じように、利用される方にとってとても重要で、必要なサービスであり、日常生活を支える根幹です。しかし、その評価は必ずしも適正ではありません。
 介護度があれば、サービスが受けられる介護保険制度。時には、一時間一五三円の利用負担のお手伝いさんではないかと、悩みながらのケアがないとはいえませんが、そういう意味では、家事援助の範囲があるのは必要なことです。

◆暮らしに必要なサービス

しかし、人が生活し、暮らすということは、この指摘された出来ないサービスのうち幾つかは、逆に必要なサービスでもあります。
 特に一人暮らしの方にとっては、通院だけが外出ではない筈であり、お墓参りにも、美容院にも行きたい、犬も飼いたい、普段手付かずの汚れも気になる、誰かの支援を得たいのです。
 生活をすると、このことは、こういふことを含めての暮らしです。でも、税金と保険料で賄われる公的な介護保険でのサービスは、心のゆとりまで提供出来ないということなのでしょう。

◆地域に助け合い活動

ほんの少しの手助けがあれば、違った世界をみる事が出来るのだけれども、その実現は簡単ではないようです。

私たちは、ひとりひとりが、自分の暮らしの自立に向けて考え、公助・自助・共助への自覚と、そうした地域作りを自ら行っていくことが出来れば、安心して暮らすことが出来る時代でもあることを改めて感じさせられました。
 平成十四年度は、介護報酬の見直しについての検討年度であり、市町村の介護保険事業計画の策定の時期でもあります。平成十五年四月実施される、介護報酬の改定、見直し後のゴールドプラン21の開始に向けての重要な年度になります。
 みんなで変化していく介護保険をしっかりと見ていきながら、同時に、地域での助け合い作りを一歩進める時代を認識しなければなりません。